

「中国における PFAS 対策技術の最新情報に関するレポート」調査リクエストに関するアンケート

昨年 10 月の国際講演会で「過去 23 年間の中国と日本の PFAS 研究の総括」についてご講演いただきました、Paul KS Lam 教授他の著名専門家の方々に「中国における PFAS 対策技術の最新情報に関するレポート(英語版)」の作成を依頼しました。PFAS 対策技術コンソーシアムがセッションオーガナイザーとして寄与する SETAC-Asia-Pacific (2024 年 9 月 21-25 日、中国、天津)でも、アジアにおける PFAS 最新技術についての講演を予定しますが、日本国内ではこれらの情報の入手は非常に困難です。国際的に置き去りにされつつある日本の PFAS 対策技術底上げのためには、「PFAS の安全利用, “pollution control”」により産業界の持続的発展を国策として進めている中国の現状理解がカギとなります。このため、本コンソーシアムの国外スーパーバイザーにご協力いただき、本レポートをコンソーシアム会員に提供予定です。

つきましては、どのような情報を本レポートに含めてほしいか、コンソーシアム会員だけでなく、一般の方のご意見も歓迎しますので、下記アンケートにご記入の上、5 月 31 日までに事務局までメールでご提出ください。なお、アンケート結果は提出元が特定されない形で、上記目的に使用させていただきます。

詳細は、公開データベース A-28. 「欧州 PFAS 対策技術現地見学会事前調査報告(一般向け概要版)と第一回欧州 PFAS 対策技術現地見学会申し込み方法」の概要報告 9 及び 10 をご参照ください。

本レポートは、当面の間は、概要報告 9 及び 10 で説明している国外エキスパートコンサルタントとの契約をご検討中の会員様のみへのご提供となります。

● 「中国における PFAS 対策技術の最新情報に関するレポート」概要 ●

執筆者：Paul KS Lam 教授を含む国外著名専門家(南京大学、香港城市大学、香港都市大学、北京大学、清華大学他)

30-50 ページの英語でのレポート

Tentative title; PFAS research and technology in China.

1. Background
2. Overview of PFAS research and technology in China
3. PFAS research, analysis, monitoring, and risk evaluation in China
4. Technology for remediation and destruction of PFAS in China
5. Literature list and information of important institution, university, government lab. and so.

アンケート内容

レポート内容に含めてほしい具体的な情報を下記にご記載ください。

例) 中国における PFAS 生産使用量、PFAS 汚染地域での環境修復技術とタイムライン、PFAS 汚染マップ、SWATH-F の国際展開、PFAS-AI 技術の特許展開、主要研究機関の連絡先、など。
執筆者が理解しやすいように、具体的なお要望を歓迎します。

=====

担当者氏名及び連絡先(メールまたは電話)

(未記入でも構いませんが、アンケート集計にはご芳名記載分のみ使用させていただきます)

アンケート提出先:PFAS 対策技術コンソーシアム事務局(m-pfas_consortium-ml@aist.go.jp)まで、メールでお送りください。

締め切り:5月31日

本アンケートで知り得た個人情報につきましては、PFAS 対策技術開発に関する参考としてのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。また、回答者さまの同意がある場合を除き、第三者へ提供いたしません。PFAS 対策技術コンソーシアム事務局は、個人情報の適正な管理に努めます。

個人情報の取扱いに関するお問い合わせについては、PFAS 対策技術コンソーシアム事務局までご連絡ください。